



令和元年8月1日 二条保育園発行

急に暑くなった印象がある今日この頃…プール遊びがやっと楽しめます。と同時に0歳児組では下痢症状のある子どももあり、重篤化、感染拡大防止に努めます。何といっても生まれて一年経つか経たないかの小さい子どもたちです。早退を繰り返し、なかなか体調回復とならないところが気がかりです。

復帰したてのお仕事のことも気になられることと思います。養生をして快適に保育園生活を送れるよう、ご家庭でもよく様子をみていただけるとありがたいことです。

せっかくの夏、水や泥を全身で堪能し、眠っている感覚を目覚めさせていきましょう。脳に良い刺激があります。自ら関わり、形を変えさせて行ける身近なあそび道具、それは水であり砂であり、泥であるのです。

体調不良では十分に楽しめないではありませんか。感性のやわらかい、吸収しやすいこの時期に良い刺激と出会うことは本当に幸せ。小さくおさまらず、でっかく遊びましょうよ！それが保育園での子どもたちの仕事です。私たちはそれをいかにバックアップするか…家庭、保育園の役割はそれぞれ違うのです。

行事予定

- | | |
|--------|-------------|
| 2日(金) | 観劇(月・雪) |
| | ・・・朱二小学校にて |
| 21日(水) | 乳児健康診断 |
| 28日(水) | 川遊び(月・雪・星組) |



紆余曲折経てやっとみなさん新しい環境に慣れた頃…。その『紆余曲折』の一部をご紹介します。

5歳児A君、どーしても保育園に行きたくない！と、登園時泣いてゴテる。なだめてもなかなか…。「よし！じゃあ保育園に来ないために何をしたらいいか考えよう」早い登園の子たちとアイデアを出し合います。すると泣き止み

A君「んーっと、起きない」

「わかった。絶対起きたらあかんで。よし、じゃあ次は？」

A君「ん…歯を磨かない」

「次は？」

A君「お風呂に入らない」

「3番まできたから4番は？」

A君「夜にこっそり起きて、おもちゃで遊ぶ」

Bちゃん「お菓子全部食べるっていうのはどう？」

C君「アイスとかソフトクリームとか、ポテトチップス。ふんふん…」助言してくれます。

A君「保育園に来たら、事務所に入る」

「あかんやん！事務所って言うたら、保育園に来てしまってるってことやから」

ABC「あ～そうかそうか」

「では、5番は？」

A君「お母さん怒ったら、ボクも怒る」

「6番」

A君「カエル拾ってお母さんをびっくりさせる」

「もし家を出発してしまったら、カエルを拾いや。では次」

A君「・・・」

もう出ないらしい。「よし、ではその作戦でなんとか保育園に来なくていいよう、がんばるように」と話しを終えました。その後の出席率かというと…皆勤です。(来ないようがんばるって言ったのに)そして、お泊り保育にも無事に参加し、いつの間にか、そんな話しをしていたことすら忘れていたようです。「お泊り保育どうやった？何がいちばん楽しかったん？」と尋ねると、「んー、どれもこれも楽しかった！」となんともいえないほどのかわいい笑顔。彼は、保育園生活を満喫しています(笑)